

<エントリーシート> ※事務局記入欄 No.: C - 25	部門 校内研修	学校名・氏名 安芸太田町立筒賀小学校
	活動名 主タイトル：命を守り心を育む防災教育 副タイトル：地域と協働する協調的学びを通して	

課題の設定：

- 地域の自然環境からの派生が予想される土砂災害や地震等への危機意識と対応力が乏しい。
 - 児童の実態として、自ら身の周りの課題に気づき進んで課題解決に向かおうとする意識が乏しい。
- 以上のことから、防災をテーマに、地域の自然や人から学ぶ活動を通して、自然災害から自他の命を守ることで資質・能力の育成を図る。

方針・計画：

- 育てたい資質・能力「感じる力」「考える力」「実行する力」を踏まえ、教科横断的なカリキュラムを構想。
- 「環境」と豊かに関わる学習を工夫すれば、自他を尊重し、「いのち」の大切さを実感するであろう。
 - 各教科等の内容と防災とを関係付けた指導を工夫すれば、防災への適切な判断をするであろう。
 - 学校行事等で学習したことを発信する機会を意図的に設定すれば、地域防災に資するであろう。

活動内容：

- 考える活動…天上山登山，地域のボランティア清掃，高齢者福祉センター訪問等 [写真1]
 - える活動…「いのち」について考える道徳，総合的な学習での防災に係る学習等 [写真2]
 - 実行する活動…運動会種目演技，赤十字救急法講習会，土砂災害防止教室等 [写真3]
- 地域の自然環境を体験的に学ぶことを基盤に、年間を通じての教科横断的な学びを通して、自然・命・防災を一体的かつ多面的・多角的に考えることにつなげた。

活動の成果： [資料1]

筒賀防災参観日（H30.9.28）でのアンケートでは、参加者から次のような声を頂いた。[写真4]

- 「子供たちがよく考え、みんなで意見を出し合い、話してまとめているところがすごい。防災だけでなく色々な所で生かせると思う。」
- 「家にいてアラートが鳴った時、迷うことなく机の下に入りじっとしているという行動ができており、びっくりしたことがある。大人でも動けなくなるのに…。学習のおかげ。」
- 「めあてに沿って班ごとに考えを出し合う姿が印象的だった。低学年なのに、考えを発表したり、質問したりと自発的、意欲的に授業に参加しているところに驚いた。」

これらのアンケート結果から、危機回避能力の定着や自ら主体的に学ぼうとする汎用的な力の成長が伺える。また、家族で防災について考えるよききっかけづくりになるとともに、児童の意識実態などから学習内容や指導方法についての課題を明らかにすることができた。カリキュラム改善につなげたい。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 急峻な地形や筒賀断層の存在から、土砂災害や地震の危険性が高いという地域特性を踏まえた。
- 総合的な学習・道徳・特別活動を中心とした教科横断的なカリキュラム・マネジメントにより、防災・自然・命を一体のものとして捉えた多面的・多角的なものの見方考え方の育成を図った。
- 児童の主体的な学びの姿がみられるようになり、児童会の生活課題改善の活動がみられるようになった。
- 広く保護者や地域に防災の取組の重要性について発信することができた。
- 青少年赤十字の研究指定校として取組を進め、研究会を通して普及することができた。



[写真1]

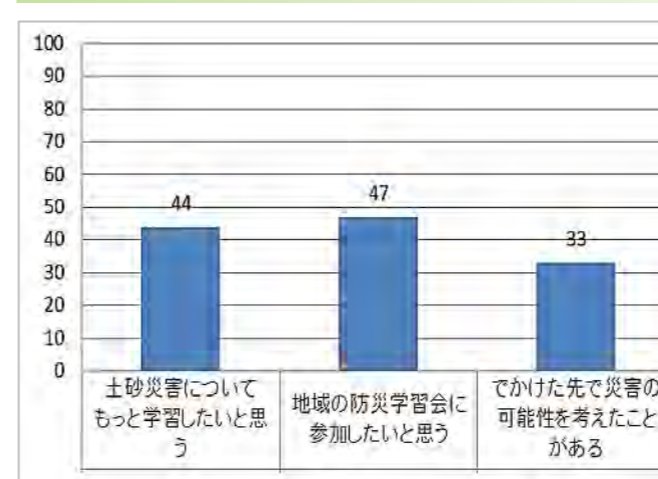
[写真2]

[写真3]



[写真4]

地域防災に関する意識調査 (H30.9)



[資料1]

児童が校外や自宅にいる場合を想定した意識調査 (H30.9)

